

⑪ 公開実用新案公報 (U)

平4-71914

⑤ Int. Cl.⁵
A 61 F 5/02識別記号 G
内整理番号 7603-4C

⑥ 公開 平成4年(1992)6月25日

審査請求 未請求 請求項の数 5 (全2頁)

⑦ 考案の名称 肩甲骨装具

⑧ 実 願 平2-115700
⑨ 出 願 平2(1990)11月2日⑩ 考案者 有 茹 信 夫 熊本県八代市日置町75番地の1
⑪ 出願人 有 茹 信 夫 熊本県八代市日置町75番地の1
⑫ 代理人 弁理士 穴見 之武義 外1名

⑬ 実用新案登録請求の範囲

- 少なくとも左右肩甲骨に被着し得る平板状の背当具と、この背当具に接続され肩部より腋下へ周回装着される左右一対の腋下具と、を備えてなる肩甲骨装具。
- 前記腋下具は、前記背当具の上部位置に接続された係止帶と、同背当具の下部位置に接続され前記係止帶に着脱自在に係着される腋下バンドと、を含む請求項1記載の肩甲骨装具。
- 前記背当具は、芯板材と、この芯板材を被覆した表面生地材と、より成り、
前記芯板材には、通気孔が開孔されてなる請求項1、又は2記載の肩甲骨装具。
- 前記背当具には、この背当具が被着する背中の脊椎並びに左右肩甲骨の下角部に対応する様な略逆T型状の補強アームが付設されてなる請求項1、2、又は3記載の肩甲骨装具。

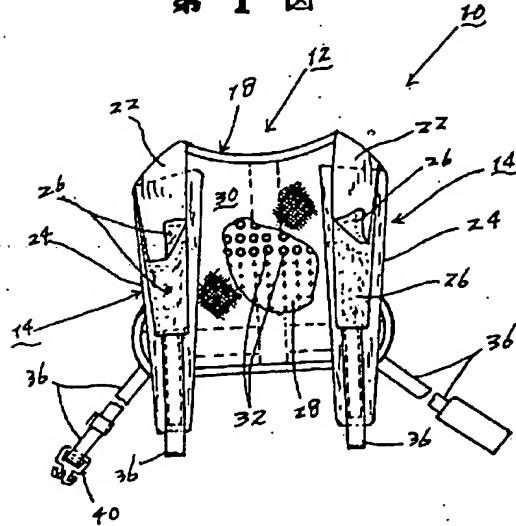
5 前記腋下バンドは、その一端に前記背当具の下部位置より胸骨の下縁位置へと周回されて相互に着脱連結される胸バンドを有してなる請求項1、2、3、又は4記載の肩甲骨装具。

図面の簡単な説明

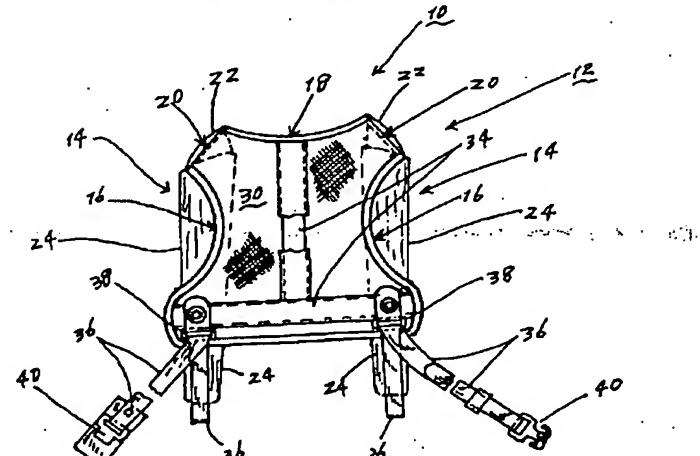
第1図は、本考案の実施例に係る肩甲骨装具の正面図、第2図は、その背面図、第3図は、本考案の肩甲骨装具を人体に装着した状態を示した背面図、第4図は、その正面図である。第5図は、従来の左右バンドを人体の肩部より腋下へ周回装着した状態を示した背面図である。

1.0 ……肩甲骨装具、1.2 ……背当具、1.4 ……腋下具、2.2 ……係止帶、2.4 ……腋下バンド、2.8 ……芯板材、3.0 ……表面生地材、3.2 ……通気孔、3.4 ……補強アーム、3.6 ……胸バンド。

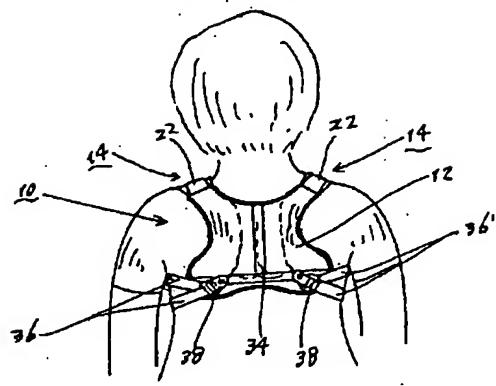
第1図



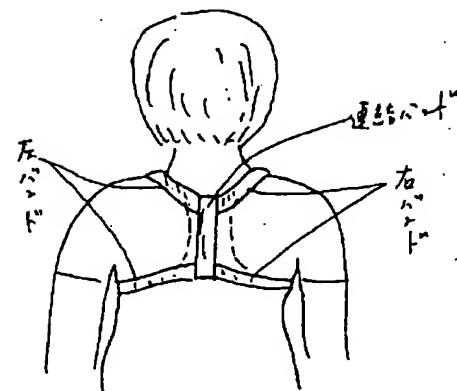
第2図



第3図



第5図



第4図

